



第 23 号 千 町 田



代表理事 山本耕一

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年は組合員の皆様に約束した事柄を総括する年であります。役員一同、目の前の課題をひとつひとつ確実に取組んでいきますので皆様の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成28年度決算は経常利益が昨年対比117%、耕種売上高は昨年対比123%で終えました。しかし営業(農業)利益は赤字であり、赤字幅は昨年対比55%圧縮したものの基幹作物の米買取り価格が高くなったことによるもので赤字幅圧縮は本来の実力ではありません。反省すべきは作況指数104で評価された中、当法人は予定収量を下回る結果であり栽培技術・栽培管理の知識や技術を極める努力をしなければなりません。また、地域を基本とした雇用の



創出、農業経営を一層強固にするために新規事業導入を図り、平成29年3月末には乾燥調製施設棟、農産物選果棟が完成する運びとなりました。今後は保有米・縁故米、そして環境保全型農業で栽培している水稲を差別化し有利販売として販路拡充に取組みます。ほ場の有効利用と雇用創出の一環として冬場作業で消費環境に優れた露地野菜としてキャベツ栽培を開始しました。基幹作物の水稲・大豆に次ぐ品目として位置付け栽培に取組んでいます。経費の半分を占める出荷資材・輸送費を近郊の青果市場と契約したことにより十分採算が取れるものと考察します。今後、栽培技術の改善に努め栽培面積の拡大と販路拡大に尽力していきます。

ある国の政権交代により保護貿易主義が唱えられています。これに対応するのは至難の業であり、農業施策が変革しても耐え抜く強固な経営力が求められます。当法人は設立今年で5年目を迎えます。地域雇用を基本としたビジョンを策定し地域一体となりもつと躍進していかねればなりません。



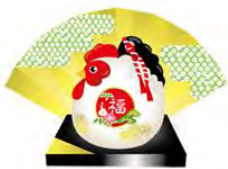
副代表理事 河津一行

組合員の皆様、あけましておめでとうございます。今年ものきの郷の事業にご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。今年アメリカ大統領が変わりトランプ政権が発足しました。早速TPPからの離脱も発表し日本としては当てが外れた感があります。農業に関してこの影響がどうなっていくのか見逃せなくなってきました。そんなものきの郷ではライスセンターが間もなく完成し米の自主販売も始めております。またキャベツ栽培も始めており新しい時代への構図も出来かけているところです。

また幸いなことに、今までのきの郷では大きな事故は起きていませんが作業者の高齢化、慣れによる安全意識の欠落、体調不良などもありますので、安全第一に無理のない作業計画で事故を未然に防止するよう努めなければなりません。今年も一年間皆様が健康で安全に従事されることを祈願するとともに、引き続きのきの郷の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

副代表理事 佐伯正志

新年を迎え組合員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。我々理事も3年任期の最後の年となり一つの区切りとして収益向上、経費削減、人材育成他今後の経営に対して明確な方向性を持たなくてはならないと考えております。中長期的な経営戦略と共に経営改善も図ることが重要であり、そのためには組合員の皆様のご意見をできるだけ多くお聞きかせたいと願っております。



担い手確保・経営強化支援事業
ライスセンター棟・出荷調整棟 起工式

さる1月24日、法人での新規事業として「担い手確保・経営強化支援事業」を利用したライスセンター棟、出荷調整棟及び乾燥設備の起工式として、前日からの大雪のため会場に法人会議室を使用し神白神官による神事を挙行いたしました。

28年度末の補正予算での支援事業であり、期日が短い中ではありますが法人の大きな柱となる事業であると考えております。完成の際には、組合員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。(坂田)

設備規模は、ライスセンター棟、出荷調整棟が各々190㎡、もみ殻集積棟66㎡、粉塵集積棟37㎡で現敷地の西側に建設し今年3月末に完成の予定で事業を開始いたしました。設計管理は矢田設計コンサルタント、建築業者は丸永建設株式会社、乾燥設備はヤンマーアグリジャパン株式会社にて施工することとなりました。

ライスセンター棟では、乾燥設備を設置し現在法人が生産いたしております水稲の保有米・縁故米の乾燥調整する計画です。また出荷調整棟は、キャベツ等の生産を始めたというところもあり、米を含めた生產品の出荷調整のための建屋として計画いたしております。



キャベツ出荷始まる



キャベツの出荷が始まりました。主な出荷先は東亜青果、米子青果、JAアグリです。加工用として週3回約1トンずつを出荷しており、カット野菜で販売されます。

8人の方で収穫、調整、出荷準備までの作業を行っています。先日の大雪の時のように思うように収穫できない時もあります。出荷ノルマを調整しながら作業を進めています。



通常総会のお知らせ

第4期通常総会を左記の通り開催いたします。組合員の皆様からの幅広いご意見やご感想をいただき今後の経営方針等決定してまいりますので多数のご参加をお願いいたします。

- ・ 監査会 … 2月4日(土)
- ・ 資料配布 … 2月11日予定
- ・ 総会 … 2月19日(日)

午後2時より
 会場 … 能義交流センター

お悔やみ申し上げます
 赤崎町 中田 喜八郎 殿

先日の大雪では皆様のお宅では被害はなかったでしょうか。道路状況が悪く大変な思いをされた方も多数おられると思いますが、子供たちは思う存分に雪遊びを楽しんだのではないのでしょうか。何事もほどほどがいいですよ。(カ)

